

2023 年 10 月吉日
2023 年 10 月 26 日補足追記

一般社団法人日本ペインクリニック学会
会員 各位

一般社団法人日本ペインクリニック学会

演題登録時の変更について(通知)

2024 年 7 月以降開催の学術集会（年次および支部学術集会）より、演題登録時には新たに以下の 3 点が必要となります。発表をご検討されている先生方におかれましては、事前にご確認の上、ご準備頂きますようお願いいたします。

【導入開始時期】

年次学術集会：第 58 回学術集会以降（2024 年 1 月演題募集分から）

支部学術集会：第 5 回支部学術集会以降（2024 年 8 月以降の演題募集から）

1. APRIN eラーニングプログラム（以下、eAPRIN）修了証の提出

演題登録の筆頭演者は、eAPRIN の下記 3 単元を受講いただき修了証を提出していただくこととなりますので事前にご用意ください。

（氏名、単元名、受講日がわかる書類、画面のスクリーンショットでも可）

【受講が必要な 3 単元】

- ① 研究における不正行為
- ② オーサーシップ
- ③ 盗用とみなされる行為 または 盗用（生命医科学系）

【有効となる受講期間】演題登録日より遡って 5 年以内

※eAPRIN のアカウントをお持ちでない方は[こちら](#)をご確認いただきアカウント登録(無料)の上、受講をお願いいたします。また、当会アカウント以外（所属施設や他学会等）での受講でも有効となります。

2. 倫理的配慮に関する開示

ヒトまたは動物を対象とした発表を行う場合、演題登録の際に所属施設の倫理委員会またはこれに準ずるものの承認を得たことおよび承認番号を提示していただくこととなりますので事前にご確認ください。

発表内容が[日本ペインクリニック学会 倫理規定](#)に合致しているか事前にご確認ください。

承認番号がないと演題をお受けいたしかねますのでご了承ください。

補足 症例報告（複数の症例によるケースシリーズも含む）の場合、倫理審査については所属施設の規定に従ってください。承認番号が得られない場合は、患者またはその家族から書面による承諾を得てください。

3. 有害事象報告書の提出

下記の「有害事象-影響度分類表」でレベル 3b 以上に該当する当会へ未報告の有害事象を含む発表である場合は、必ず**有害事象報告書（指定の Excel シート）**を提出してください。

当会の指定研修施設として報告している有害事象は、報告書の提出は必要ありませんが、提出年月日を記入していただくこととなりますので事前にご確認ください。

有害事象-影響度分類表			
レベル	障害の継続性	障害の程度	内容
0	なし		エラーや医薬品医療機器の不具合が見られたが、患者には実施されず、未然に防げた
1	なし		何らかの影響を与えた可能性は否定できないが、患者への実害はない
2	一過性	軽度	処置や治療は要さなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査等の必要性は生じた) 例: SGB 後に意識を消失したがすぐに回復したため経過観察した 硬膜外ブロック時にクモ膜穿刺になったが経過観察をした
3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した 例: 皮膚の縫合・シーネ固定・循環改善薬や鎮痛薬の投与等・硬膜外ブロック後に血圧が低下し補液とエフェドリンを使用した SGB 後に痙攣が生じ酸素投与や抗痙攣薬を使用し経過観察を行った
3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した 例: バイタルサインの高度変化、蘇生術、手術、入院日数の延長、外来患者の入院等、硬膜外ブロック後に急激な循環動態の変化を生じ緊急的に昇圧剤の処置を行って経過観察した(クモ膜下ブロックと思われた)
4a	永続的		永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
4b	永続的		永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
5		死亡	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
X その他		社会的問題	乱用、患者からの強要、違法行為
Y 部位間違い		部位間違い	治療部位の間違い 例: 右⇒左など

重大な有害事象（要詳細報告）

上記 3 点の提出方法の詳細については、当会ホームページまたは学術集会ホームページにて随時ご案内いたします。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上